、ニジェール情勢（報道とりまとめ）

（平成２８年１０月）

主な出来事

【内政・治安】

●１０月５日、政治対話国民会議（ＣＮＤＰ）は、２０１７年１月８日に予定されていた地方選挙の延期を決定した。

●１０月６日、武装集団がタウア州タザリのマリ難民キャンプを襲撃し、兵士２２名を殺害、５名を負傷させた。

●１０月１４日、タウア州アバラク県で、米国人NGO職員が誘拐された。犯人等は被害者とマリ北部に逃亡した。

●１０月１７日、武装集団がクトゥカレ刑務所を襲撃したが、治安部隊が撃退した。翌日、ISILが犯行声明を発出した。

●１０月１９日、野党ＭＮＳＤの大統領陣営への合流決定に伴い内閣改造が行われ、ＭＮＳＤ出身者（６名）が内閣入りした。

【外交・経済協力】

●１０月５日、アラブ首長国連邦を訪問中のイスフ大統領は、ムハンマド・ビン・ザイード・アール・ナヒヤーン皇太子と会談した。

●１０月１０日、メルケル・ドイツ首相はニジェールを訪問し、イスフ大統領と会談した。メルケル首相は、軍事及び経済協力のための２，７００万ユーロの対ニジェール支援を表明した。

●１０月２６日から２７日にかけて、ブリジ・ラフィニ首相はアルジェリアを訪問し、セラル・アルジェリア首相等と会談した。

**１．内政・治安**

●１０月５日、政治対話国民会議（ＣＮＤＰ）は、野党及び独立系政党がボイコットする中、財源不足及び国家独立選挙委員会（CENI）の準備不足を理由に、２０１７年１月８日に予定されていた地方選挙の延期を決定した。地方選挙の延期は三度目。（Jeune Afrique）

●１０月６日、トゥアレグ語を話すジハーディストと思われる３０名から４０名の武装集団がタウア州タザリ（Tazalit、ニアメ北東３００ｋｍ）のマリ難民キャンプを襲撃し、兵士２２名を殺害、５名を負傷させた。武装集団は、食糧、衣類、武器、弾薬、車両３台を略奪して逃走した。（AFP）

●１０月１４日、ニアメから北東３５０Ｋｍのタウア州アバラク(Abalak)県で、米人ジェフリー・ウッドキー（Jeffery Woodke）氏が、武装し四輪駆動車に乗った男らに連れ去られた。同氏は、１９９２年からニジェールに暮らす米国のNGO、Youth With a Missionの職員。ニジェール当局は、誘拐犯がマリのMUJAO支配地域に逃亡したと述べた。（AFP、RFI）

●１０月１７日、武装集団がニアメ北東５０ｋｍのクトゥカレ（Koutoukale）刑務所を襲撃したが、治安部隊が撃退した。同刑務所はテロリストを収容しており、国内で最もセキュリティが強固な刑務所の一つと見なされている。（AFP）

●１０月１８日、イスラム国（ISIL）は、モーリタニアの独立系ニュースウェブサイト「アル＝アフバール」において、前日のクトゥカレ刑務所襲撃事件の犯行声明を発出した。ISILがニジェールでの襲撃事件の犯行声明を発出するのは今回が初めて。（RFI）

●１０月１９日、野党ＭＮＳＤの大統領陣営への合流決定に伴い内閣改造が行われ、ＭＮＳＤ出身者（６名）が公衆保健大臣、職業・技術訓練大臣、観光・手工業大臣、環境大臣、工業大臣等に任命された。ラフィニ首相及び３名の国務大臣、外務大臣は留任。ラフィニ首相を含め閣僚は４２名、及び大統領府付大臣１名（うち女性閣僚８名）。（ONEP）

●１０月２４日、国民議会は、米国政府のミレニアム・チャレンジ・コーポレーション（MCC）経由の総額４３７百万米ドルの対ニジェール支援に関する協定を批准した。（Le Sahel）

●１０月３０日、２９日に発生した元トゥアレグ系反乱軍リーダーのアムマヌ・カラクワに対する銃撃事件を受けて、北部の治安に関する緊急会議がアガデスで開催された。同会議には、リッサ・アグ・ブラ大統領府付大臣（アガデス州投資計画担当）が出席し、事件は民族間の対立ではなく個人的なものであるとの見方を示した。（RFI）

**２．外交・経済協力**

●１０月５日、アラブ首長国連邦を訪問中のイスフ大統領は、ムハンマド・ビン・ザイード・アール・ナヒヤーン皇太子と会談した。会談で、イスフ大統領は、特に治安、テロとの戦い、情報交換の分野で二国間協力を強化したいと述べた。（Le Sahel）

●１０月６日、国民議会の開会に伴い、ニアス・セネガル国民議会議長、フォファナ・ギニア国民議会副議長、ダメトリ・トーゴ国民議会副議長、シディベ・マリ国民議会議長等がニジェールを友好訪問した。（Le Sahel）

●１０月１０日、メルケル・ドイツ首相はニジェールを訪問し、イスフ大統領と会談した。会談では二国間関係のほか、移民問題やサヘル地域の治安情勢が議論され、メルケル首相は、MINUSIMAの活動支援及びニジェール北部の開発支援等のための総額２，７００万ユーロの対ニジェール支援を表明した。（RFI）

●１０月２６日から２７日にかけて、ブリジ・ラフィニ首相はアルジェリアを訪問し、セラル・アルジェリア首相等と会談した。両者は二国間の友好関係強化や地域の懸案事項を議論した。（Le Sahel）

**３．経済・社会**

●１０月２５日、公務行政改革省は、今年実施した公務員の採用試験（４５０名採用）の結果をキャンセルした。汚職対策最高機関（HALCIA）の調査で、試験の実施に際して重大な不正があったと判明したため。（RFI）

●１０月２６日、世銀による２０１７年のDoing Businessのランキングで、ニジェールは１５０位となったと報じられた。前年から１０ランクの向上。（Le Sahel）

（了）